

靱性モルタルキーパー

法面靱性モルタル表面保護工法

近年各地で、既設吹付け法面の補修要望が高まっています。靱性モルタル表面保護工法は、災害予防を目的とした法面再生を図る工法です。

靱性モルタルの物性値

| 試験項目 | 規格値 | 試験方法 |
|---------|---------------------------|------------------------|
| 圧縮強度 | 15.0 N/mm ² 以上 | JIS A 1171 |
| 曲げ強度 | 8.0 N/mm ² 以上 | JIS A 1171 |
| 付着強度 | 1.5 N/mm ² 以上 | JIS A 1171 |
| 引張強度 | 3.0 N/mm ² 以上 | 土木学会 ダンペール型一軸直接引張試験 |
| 引張終局ひずみ | 0.10% 以上 | |

施工実績




【製造元】


 株式会社ビルドロード

〒921-8064 石川県金沢市八日市3丁目514番地
TEL (076) 269-3414

【発売元】

 株式会社デーロス・ジャパン

本社 〒921-8005 石川県金沢市間明町2丁目70番地
TEL (076) 229-7260 FAX (076) 229-7261

 株式会社デーロス・ジャパン

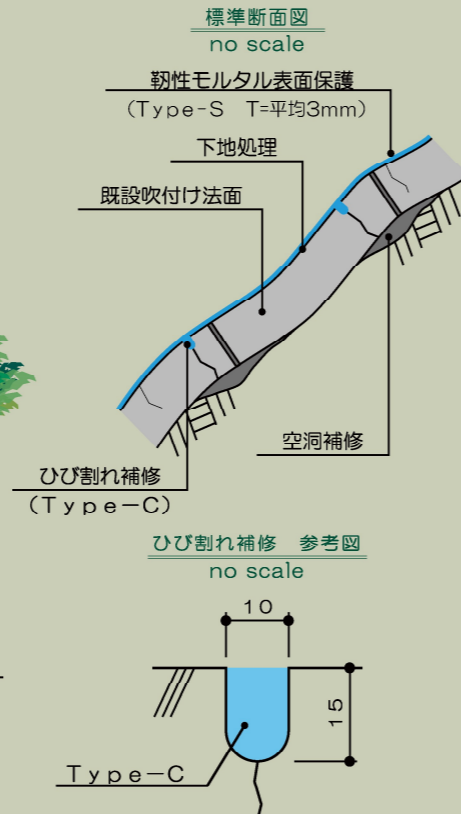
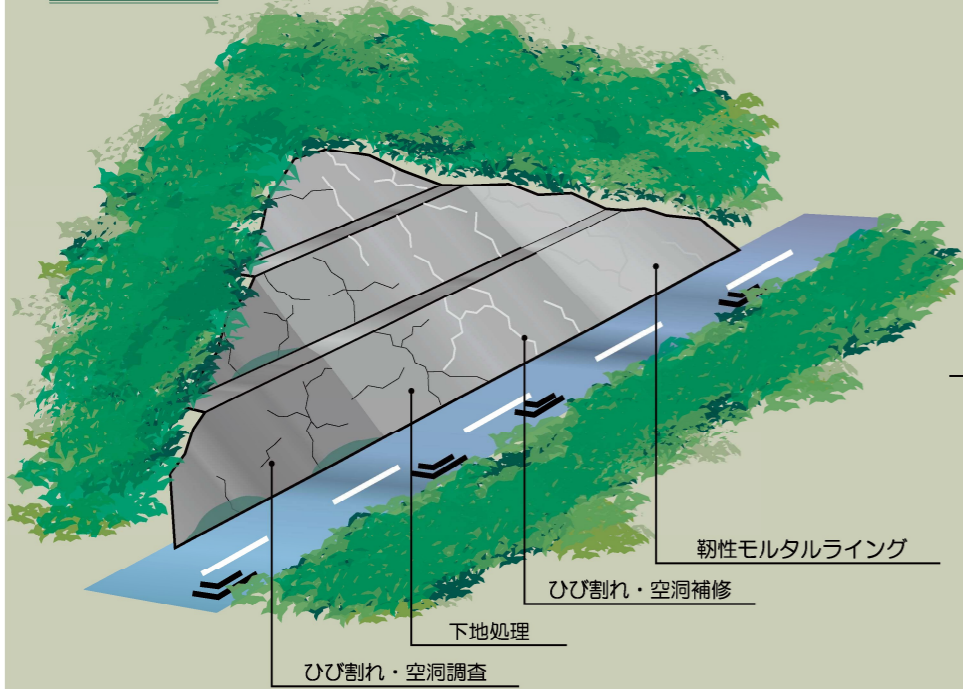
法面柔性モルタル表面保護工法とは

特殊ポリマーセメントモルタルにビニロン繊維等を混合して作った材料（柔性モルタル）で既設法面のひび割れ部と表面を補修する工法です。

柔性モルタルは、付着性、伸縮性、曲げ剛性等に優れているうえに、高い耐久性を有する不燃性無機系の材料です。

構造的にも、柔性モルタルをひび割れ部へ充填、表面に平均3mm（ $t=2\sim 4\text{mm}$ ）厚で吹付けるといったシンプルな構造です。

補修イメージ図



法面柔性モルタル表面保護工法の特徴

優れたひび割れ抵抗性

引張終局ひずみ0.1%以上の性能を実現したことで、従来ポリマーセメントモルタルと比べ、ひび割れ抵抗性に優れた材料です。

既設法面安定性

吹付け厚さ（ $T=平均3\text{mm}$ ）が薄く、単位体積重量も軽いため、既設法面の死荷重を増大させることなく表面保護が図れます。

工期短縮

既設構造物を残したまま施工できる工法で、下地処理、ひび割れ補修・空洞充填後に吹付けするシンプルな施工で工期短縮が図れます。

経済性

既設構造物の取壊し作業もなく、大掛かりな仮設、機材を必要としないため経済的な施工が可能です。

環境性 (eco)

既設構造物の処分を必要としない、環境に配慮した工法です。

施工手順

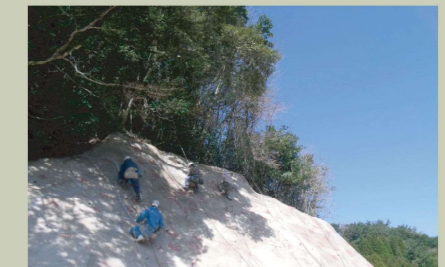
- ① 準備工（土砂撤去等）
- ② 調査工（ひび割れ・空洞調査）
- ③ 下地処理工（洗浄・目粗し）
- ④ ひび割れマーキング・測定工
- ⑤ ひび割れカット・充填工
- ⑥ 空洞削孔・注入工
- ⑦ 柔性モルタルライニング工
- ⑧ 撤去・清掃
- ⑨ 完了



① 準備工（土砂撤去等）



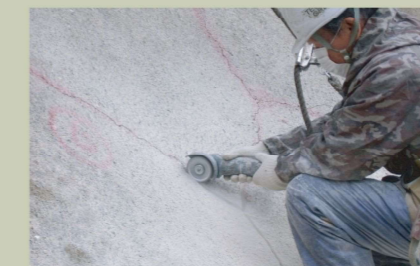
④ ひび割れマーキング・測定工



⑤ ひび割れカット・充填工



② 調査工（空洞調査）



⑤ ひび割れカット



⑦ 柔性モルタルライニング



③ 下地処理工（洗浄・目粗し）



⑤ ひび割れ充填工



⑨ 完了

※ ⑥空洞注入工は必要に応じて行います。

仕様

標準配合表

Type-C（ひび割れ補修用）

| | A材（粉体） | B材（短繊維） | C材（混和材） | 備考 |
|------------|--------|----------|---------|----------|
| 1袋当りの標準配合量 | 10kg/袋 | 0.12kg/袋 | 3.0kg | 見掛比重 1.7 |

Type-S（法面保護用）

| | A材（粉体） | B材（短繊維） | C材（混和材） | 水 | 備考 |
|------------|--------|----------|---------|-----------|-----------|
| 1袋当りの標準配合量 | 20kg/袋 | 0.25kg/袋 | 4.0kg | 2.4±0.2kg | 見掛比重 1.95 |